

2024年12月期第2四半期決算説明会 質疑応答

(回答者：西森社長)

Q1. 円安効果が+4.4億円と意外と大きく感じます。社内予算比では、この為替分は上振れとなっているのでしょうか？それとも、もともと円安を想定していて、この程度は想定内でしょうか？

A1. 想定していたレートより円安に振れていることは事実。前年同期比での為替影響は、売上高について6.9億円のプラス。一方、インド子会社に貸付しているドル建て債券などがあるのでマイナスインパクトもあるが、全体として想定より上振れているのは事実。

追記：円安効果 売上高 +6.9億円、調整後EBITDA +0.7億円（当社試算値）

Q2. 受注状況について、インドの反動減や為替、連結除外などプラスとマイナスの影響があるということなので、これらを除いた実際の受注環境について教えてください。できれば国内と海外に分けてご説明をお願いします。

A2. 国内ITは、一部顧客でIT投資予算を抑えている顧客がおり、その点ではマイナスな部分はあるが、新規獲得した顧客もおり、全体的に地合は悪くない、プラス傾向と認識している。

インド子会社ではハードウェア案件を獲得できており（インド経済活況に伴い）、海外ITも全体的に悪いと思っていない。今後も取れる案件は取っていきたいと思っている。

以上